

遺愛の誇れるもの

遺愛にはたくさん誇れるものがあります。建物は築 106 年の本館と旧宣教師館（通称ホワイトハウス）が国の重要文化財、講堂と謝恩館が登録有形文化財です。全国の中学・高校で国の重要文化財で学校生活をおくれるのは遺愛だけです。キャンパスもきれいで、初春はクロッカス、スノードロップの群生をホワイトハウスの庭に見ることができ、すっかり道内では名物になっています。ゴールデンウィーク前後には前庭の桜がとてもキレイです。遺愛には 10 種類【大山桜、大島桜、関山、普賢象、奈良八重桜、八重紅枝垂、うこん、（黄色）帆立、紅玉恵、染井吉野】48 本の桜がありますが、今回岐阜県古川広明様から、国の天然記念物に指定されている岐阜“淡墨桜（うすすみさくら）”をいただき 4 月 12 日（土）に植樹し、11 種 49 本になりました。全国では 6 人しかいない、北海道ではただ 1 人の桜守の浅利政俊先生（七飯町在住）からは、遺愛の桜は、北海道の中学高校では最も充実した桜で、とても素晴らしいとお褒めの言葉をいただきました。また、珍しいものとしては、同じ幹から違う種類の桜（大島桜とソメイヨシノ）が花開くものがあります。（正門に入って直ぐの右手・守衛室の裏にあります。）また、本館の正面玄関に向かって右側にソメイヨシノの古木があります。遺愛で最も早く咲く桜ですが、遺愛に植樹されて 106 年以上経っています。普通はソメイヨシノの寿命は 50～60 年と言われるので、非常に貴重な桜です。桜のあとはスズランそしてライラック。そして夏はアジサイと正面の松並木の緑がくっきりとはえます。秋になると寮生ロードの銀杏並木が黄金色に色づき、冬は正門左側にクリスマスツリーになるヒマラヤ杉が脚光を浴びます。素晴らしいキャンパスなのでテレビドラマや CM、映画、プロモーションビデオ、ファッション雑誌の撮影に毎年のように使用されます。道内の学校では、ロケ地として一番使われている学校です。

でもやはり誇れる一番は、元気で明るく優しい遺愛の生徒達です。そしてその生徒達を暖かく見守り支える熱心な教職員、加えて遺愛をこよなく愛し支えてくれる同窓生の方々です。今年は遺愛創基 140 周年（北海道で最も伝統のある中学高校）を 9 月 26 日（金）に皆でお祝いします。



本館右側のソメイヨシノの古木



植樹式

2014 年 4 月 14 日（月）